

【インターネット通信の暗号化方式「SSL3.0」の脆弱性対応について】

インターネット通信の暗号化方式「SSL3.0」に、暗号化されている通信の内容が漏えいする可能性があるとの脆弱性が発見されました。そのため、本システムにおいても、「SSL3.0」を無効にする対策を実施します。

また、本対策の実施後、以下の状態となっているブラウザをご利用の場合、本システムへ接続ができなくなります。

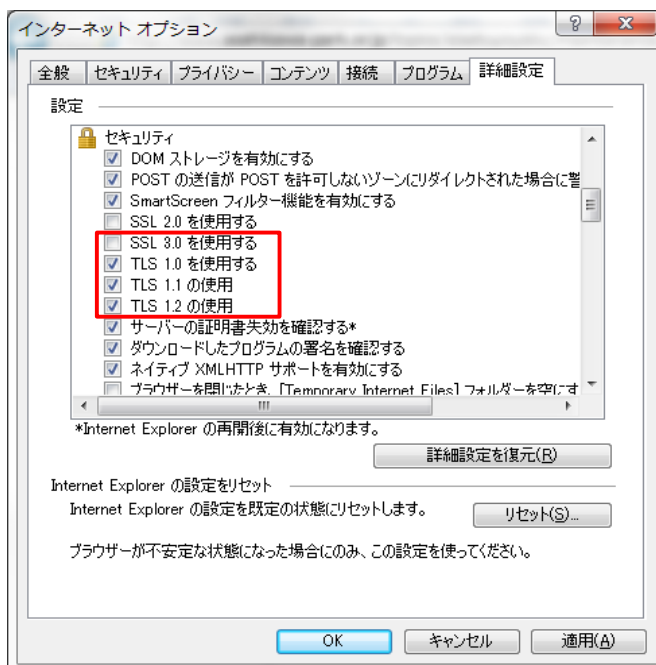
- ・「TLS1.0」以降の暗号化方式に対応していないブラウザ及び携帯電話
- ・「TLS1.0」以降を使用する設定を行っていないブラウザ及び携帯電話

本システムに接続ができなくなった場合は、ブラウザの設定を確認し、「TLS1.0」以降を使用するように設定変更をお願いいたします。下記に例としてInternet Explorerの「TLS1.0」以降を有効にする設定方法を記載いたします。

ご利用者様にはご不便をおかけしますが、セキュリティ強化のために必要な対策ですので、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

■Internet Explorerの「TLS」を有効にする設定方法

- ① Internet Explorerを立ち上げ、メニューバーより[ツール]⇒[インターネット オプション]を選択します。
- ② インターネットオプションのタブから[詳細設定]を選択します。
- ③ [セキュリティ]から[SSL 3.0 を使用する]のチェックを外し、[TLS 1.0 を使用する]、[TLS 1.1 の使用]、[TLS 1.2 の使用]の全てにチェックを入れます。
- ④ [適用]ボタンをクリック後、[OK]ボタンをクリックし設定画面を閉じます。
- ⑤ Internet Explorerを再起動します。



以上